

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	避難訓練の際の担架導入について	グループホームのハード面の環境及び、介助者の人数のめんでのソフト面での両方を考え、適切な担架の導入ができる。	○同法人の特別養護老人ホーム所有の担架を借り、グループホーム内で活用できるか確認する。 ○人的確保が困難な場合も考え、1人でも使用可能な担架の活用も検討する。	12ヶ月
2	15	季節感を演出する食材の提供が不十分	同法人の特別養護老人ホームでのセントラルキッチンから食事提供であるが、その中でも利用者が季節感を感じることができる食材の提供ができる。	○特別養護老人ホームの管理栄養士と食材料金の予算を協議 ○利用者からの嗜好調査 ○季節感を演出する食材を週に1回提供	12ヶ月
3	18	外気を感じる時間を短時間でも演出する機会の確保が不十分	グループホームの裏が広い公園であるスケールメリットを生かし、午後からの気温が緩む時間に散歩を日課に計画し実行できる。	○個別対応で会話をしながらの近隣散歩	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。